
三好市プチガイド養成講座 2020

5 コマ目

三好市のまちの歴史文化 ～ 三野・池田 ～



配信期間：2020年9月4日～9月25日

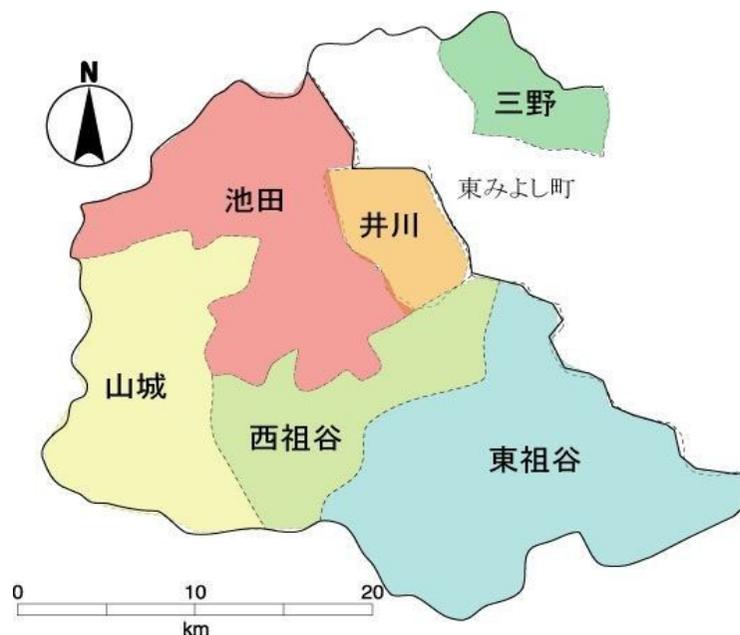
三好市 三野町及び池田町の概況と歴史

平成18年3月1日

旧三野町・池田町・山城町・井川町・東祖谷山村・西祖谷山村
の6町村が合併して三好市が誕生

池田地域に市役所本庁を、
各地域に支所を配置し

三野地域は、東みよし町を
挟んで飛び地の行政区



三好市合併に至る2町の行政区画の歴史的経緯

三野町の変遷



郡制施行前	郡区町村編成法 (明治12年)	市町村制施行 (明治22年)	(大正13年)	町村合併促進法 (昭和31年)
清水村	三野村	三野村	三野町	三野町
加茂宮村				
勢力村				
芝生村				
太刀野村				
太刀野山村				

池田町の変遷

郡区町村編成法 (明治12年)	市町村制施行 (明治22年)	(明治38年)	町村合併促進法 (昭和31年)	(昭和34年)
池田村	池田村	池田町	池田町	池田町
池田町				
州津村	箸蔵村		池田町	
西山村				
佐野村	佐馬地村		佐馬地村	
馬路村				
白地村				
中西村	三縄村		三縄村	
漆川村				
中津川村				
松尾村				
大利村				
川崎村				



地域の特性 三野町

三野町地域

人口 4,266人

うち 男性2,040人 女性2,226人

世帯数 2,016世帯

面積 43.04km²

可住地面積 12.61km² 可住地面積割合 29.3%

三好市の北東部

三好市の中では比較的平坦な土地が連担、
耕作地が多く、市内では最も可住地の比率が高い

耕作地には、水田が広がり、ブロッコリーなどの野菜類の栽培と、
特産品である八朔・はれひめ等の柑橘系の栽培が多くみられます

芝生地区の吉野川の河成段丘、支流に形成された、太刀野、王地・勢力、清水、河内谷の扇状地に集落が形成されています



河成段丘：吉野川の浸食と土地の隆起によってできた段丘

扇状地： 川が山地から平地へ流れ出るところにできた扇型の堆積地形

地域の特性 池田町

池田町地域

人口 11,796人

男性5,574人 女性6,222人

世帯数 5,959世帯

面積 167.81km²

可住地面積 30.17km²

可住地面積割合 18.0%

三好市の北部

地域を横断するように吉野川が流れている

北部県境には、雲辺寺、箸蔵寺を含む箸蔵県立自然公園

国道32号、192号、JR土讃線・徳島線、が接続、交通の要衝地として、JR阿波池田駅、阿波池田バスターミナル

周辺には市役所、国県の出先機関、商店街等により既成市街地が形成、市の行政、医療、商業、業務、教育の中心、古くは、たばこ産業、お茶の産地、加工、集積地として発展

吉野川北岸には、州津地区、吉野川上流に中西地区、白地地区の河成段丘が形成され、小規模な町が形成されています



河成段丘：吉野川の浸食と土地の隆起によってできた段丘

地域の特性 池田町

池田町地域（つづき）

宿場町の歴史が息づく県西部の中心地です

江戸時代、三好地域の山間部で葉タバコの生産量が増え、葉たばこの集積地となった池田では、商業が栄えたことから、刻みたばこの商家が並ぶうだつの町並みが形成され、その面影を残しています。また古くから三好郡における政治経済の中心地であり、現在においても県西部の中心地としての都市機能が集積しています。



池田町本町 阿波池田うだつの家たばこ資料館

三好市のマチの歴史と文化 三野・池田 編

見どころの紹介

三野町周辺の見どころについて

三野町の大地の成り立ちを感じられる場所として

中央構造線に関係する箇所：道の駅三野にある太刀野の中央構造線、三野町総合体育館にある芝生衝上(しょうじょう)断層など

太刀野地区、王地地区、勢力地区、清水地区、河内谷川沿いに見られるの扇状地地形、芝生地区の河成段丘など

三野町の大地と係わりのある歴史文化が観られる場所として

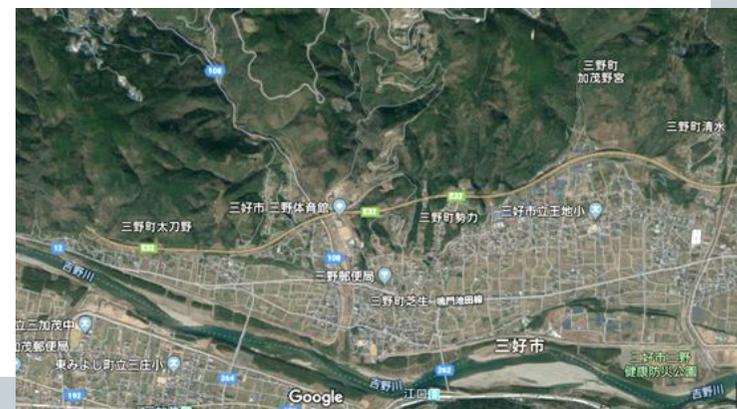
灌漑用水施設(三村用水の岩角の釜所など)、三野のため池

今回は、三野地域の魅力紹介として、三村用水について、お話をします



三村用水(岩角の釜所)

道の駅三野 太刀野の中央構造線



「三村用水」

三村用水は、河内谷の中流域にある岩角の釜所を頭首工に、三村用水トンネルを抜け、芝生、勢力、清水、加茂宮の田畑の灌漑用水として、江戸時代に整備され、現在も維持活用されています

頭首工：農業用水を河川から取水するための施設 堰堤、取水口

岩角釜所の分水



岩角釜所 分水和解記念公園



三村用水トンネル内部

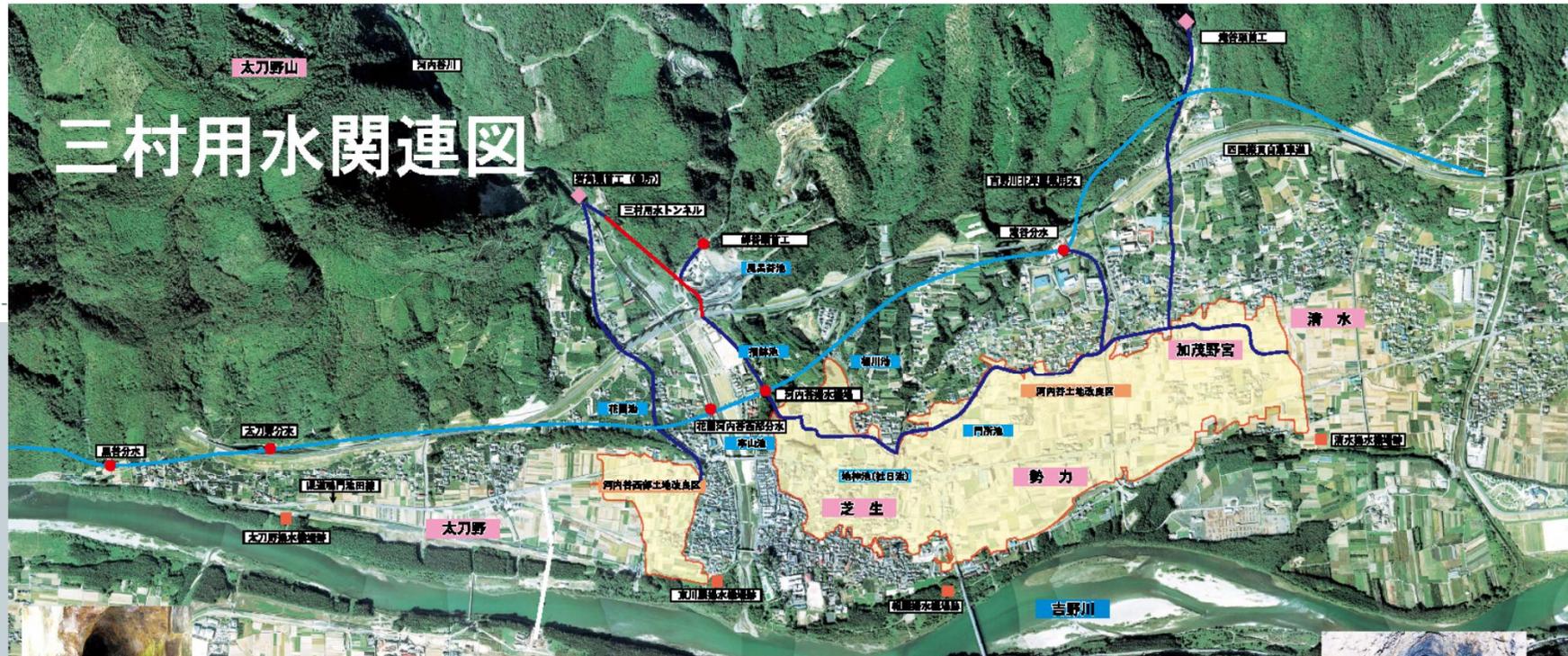


大川山を水源とし、隧道用水路を抜け田畑を潤します



三村用水 物語

～阿波徳島藩最初のトンネル式用水～



三村用水関連図

三村用水 ～阿波徳島藩最初のトンネル式用水～

これは、三野町域の芝生村、勢力村、加茂宮村の三村が、文化3年の大干害（だいかんがい）を解消するため村民をあげて取り組んだ、悲願の水田用水開削物語です

河内谷土地改良区



榎科口 (第1) トンネル (全長288m)



榎科トンネル出口付近 (分水分水)



榎谷瀬工からの補給水 (三村用水との合流地点)



獅子の口 (第2) トンネル



黒田谷 (第3) トンネル



榎谷瀬の噴水



水を下げて流れる温度の大きな



亭山地



三村用水 幹線水路

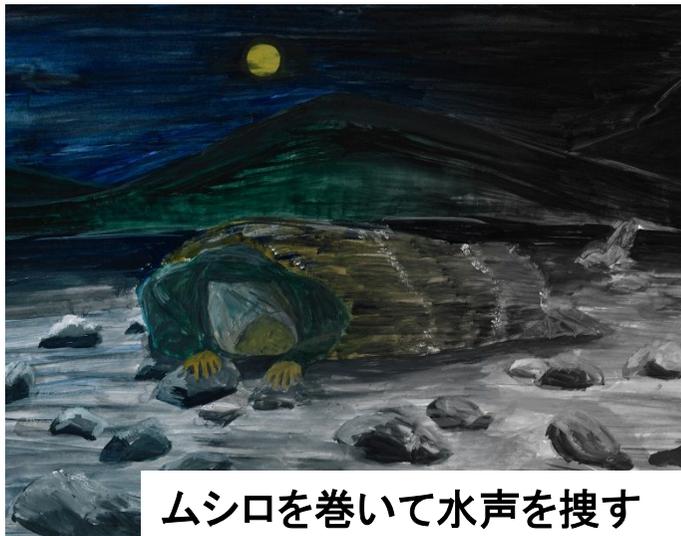
三村用水 物語 ～阿波徳島藩最初のトンネル式用水～ ①

1、文化3年(1806年)の大干害と勢力村百姓の越境逃散事件

2、文化5年(1808年)完成の第1期三村用水開削物語

(1)新太夫らによる河内谷川底の伏流水捜し

この窮状を深く憂慮したのは、芝生村の庄屋助役 山本新太夫であった…



ムシロを巻いて水声を捜す
山本新太夫

三村用水の頭首工

河内谷 岩角の釜所 分水工付近



遂に、花園の上流、岩角 付近でザアザアと流れる伏流水を聞きつけます。

三村用水 物語 ～阿波徳島藩最初のトンネル式用水～ ②

(2)水だ、水だ、大川山の水が来た

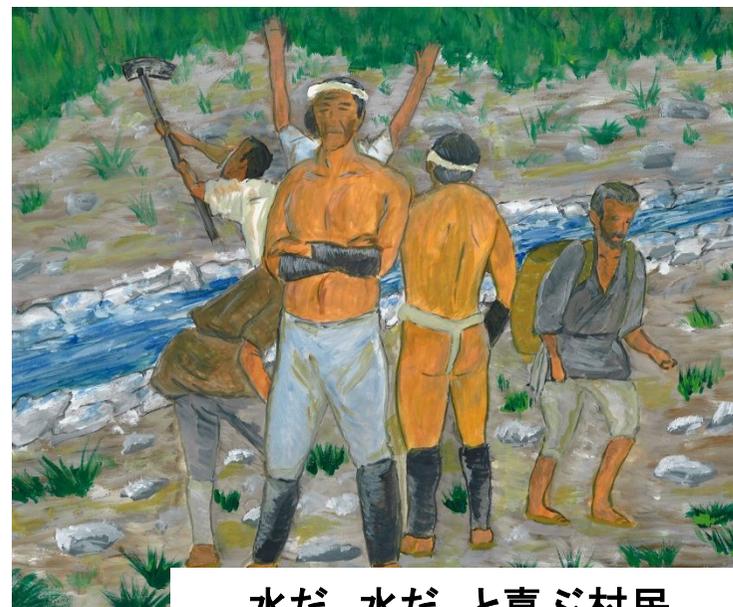
藩の許可はなかなか下りません。計画書を精査し再三再四嘆願書を提出します。村民は何十回も寄り合いをし、命がけでやることを決意します。それでも藩の許可には届かず気をもむ新太夫らでしたが、文化4年早春、待望の許可が下ります。

「岩角」は、岩盤が谷底まで続き、伏流水が地表に現れる絶好の場所です。谷底を掘り、大きな桶を埋めて周囲の伏流水を集める釜所を造ります。谷底を東岸に向かって暗渠(地中に埋設された水路)126メートルを築き、山腰(さんよう)に至り、そこよりは山裾(やますそ)に沿って水路を設け、「不動崖(ふどうがい)」を横切って高い崖下を南に下り、芝生上所の「風呂の谷」に導水します。ここより、芝生、勢力、加茂宮、三村の水田に配水するべく幹線水路を開設していったのです。

「これでよし」新太夫は、せき止めていた水の吐き出し口へ行って、水路に水を流します。どっと流れ出た水は幹線水路を伝い、小舟をも流す勢いで流れ下りました。

時に文化5年の晩春でした。この用水は、芝生、勢力、加茂宮の三村が合同して開設したため、以来「三村用水」と命名されます。

工事費は、約 銀16貫800余匁(もんめ)、当時の1匁は人夫1人役相当でしたので、約16,800人夫役かかったものと思われます



水だ、水だ、と喜ぶ村民

三村用水 物語 ～阿波徳島藩最初のトンネル式用水～ ③

3、文政10年(1827年)関西の第2期用水トンネル開削物語

(1)炭鉱掘りからヒントを得て

文化5年(1808年)晩春に完成した三村用水はですが、毎年悩まされていたのが、山裾を通る水路の決壊でした。河内谷川は奥深いため、台風や豪雨の時には氾濫を繰り返し、東岸の山裾沿いに造られた水路はたちまち決壊し、通水が出来なくなるのです。それも、梅雨明けの豪雨を受け、成長盛りの稲に必要な、肝心の8月9日に、台風により決壊するのです。三村はそのたびに修復に追われ、農民たちも毎年不安を抱えての作付けでした。……

新太夫は同志の賛同を得て、決壊を繰り返す山裾をトンネルにする隧道開削工事を藩へと願い出ます。

(2)新太夫、全財産を差し出す

「もしも失敗したときには全財産を没収されても悔いはありません」と上申します。

同志も、大胆、知略に充ちた、注意深い計画の大事業なので、終始助け合い、必ずや成功させようと約束します。

新太夫らの誠意が認められ、文政5年(1822年)、やっと藩の許可が出ました。



「全財産を差し出す」と決意を話す新太夫

三村用水 物語 ～阿波徳島藩最初のトンネル式用水～ ④

(3)不幸にも、犠牲者が出た

文政5年初冬、第2期隧道開削工事がついに着工されます。朝は七つ時(午前4時)から夕方は暮れるまで作業しますが、岩盤が相手のノミとツルハシを使っての手彫り掘削です。工程は難渋(なんじゅう)し、1日汗水たらして掘削しても遅々(ちち)として進みません。人一人が頭を下げて通れるぐらいの横穴を掘り進めます。目指す方向に掘り進んでいるのか、勾配は大丈夫か、以前にはなかった心配と不安が募ります。入口付近の掘削はまだしも、奥深く掘り進むに伴いランプの明かりだけが頼りの作業です。落盤が心配です。トンネル内には、隧道を奥に入ると少し上側に6畳間ほどの部屋(空間)が残っています。おそらくここで休憩したり、或いはここに寝泊まりしていたのかもしれませんが。

3名が交替で炭鋤男の助手として腰をかがめて掘削します。この場所で1日の作業の打ち合わせをし、飯を食い、茶を飲んで、再び岩盤に立ち向かったのであろう、それは想像を超える難工事でした。

文政8年(1825年)春、芝生衝上のがけ崩れが発生し、作業中だった、勘吉、栄五、駒平の3人が生き埋めとなり、ついに犠牲者が出てしまいます。この3人の霊を弔うために崖下の現場に3名連名の三界萬霊碑(さんがいばんれいひ)が建立されます。現在は、風呂の谷の三村用水記念碑の傍らに移設されています。

文政10年(1827年)の晩春、幾多の困難と人的犠牲をも伴った夢の大工事は遂に完成します。それは、文政5年から実質5か年の歳月と銀19貫200匁余の経費を投入する難工事でありましたが、トンネルの岩盤は硬く、180年余り後の現在も当時のままの隧道水路として現役で通水しています。

三界萬霊碑



三村用水 物語 ～阿波徳島藩最初のトンネル式用水～ ⑤

(4) 郡内屈指の米作地帯となる 三野平野

三村用水の完成で、芝生、勢力、加茂宮の三村は、受益面積40余町歩(40ha余)、畑から水田に変わったもの30余町歩(30ha余)を合わせると、70余町歩(70ha余)になり、その後増田されて140余町歩(140ha余)となり、三村は、三好郡市内、屈指の稲作地帯となったのです。



4、儒学者 新居水竹(にい すいちく)

撰書(せんしょ)になる 三村用水記念碑の建立

トンネル式の三村用水が完成して37年後の文久4年(元治元年)(1864年)、芝生上所字風呂の谷に「芝生・勢力・加茂宮三村溝水之記(さんそんこうすいのしるし)」という顕彰碑が建立されました。

平成12年(2000年)8月23日、老朽化した記念碑を、漢文を現代語に意識した新碑文と旧碑文を並べて建立し、歴史を伝える公園として提供されています



新旧三村用水記念碑 左 現代語訳

三村用水 物語 ～阿波徳島藩最初のトンネル式用水～ ⑥

現在、河内谷土地改良区は、国の補助事業の採択を受け、同隧道用水路について、「岩角」より「風呂の谷」の間で、改修工事を実施中です。

ここで、三村用水トンネル内の探査映像をご覧ください。
同土地改良区さんが、平成20年12月、トンネル内の探査をされた時の映像です。
ご覧ください。



三村用水トンネル内の探査映像
河内谷土地改良区

池田町周辺について

池田町の大地の成り立ちを感じられる場所

- ・池田断層 断層崖(池田町上野ヶ丘とマチ・サラダ地区とを分ける東西方向に発達した崖)
- ・新猪鼻トンネルの徳島県側法面に観られる中央構造線露頭
- ・シンヤマの地すべり地塊(過去に讃岐山脈の一部が地すべりを起こして移動してきた地塊)
- ・吉野川の流路変更(池田町イタノ地区付近から吉野川は東へ流れを変える)

池田町の大地と関わりのある歴史文化が観られる場所として

- ・刻みたばこ産業の歴史
- ・吉野川の水運文化(昔は吉野川が交通路として活用されていた)
- ・他藩との攻防の西の砦、池田(池田大西城、白地城)



池田断層 断層崖



吉野川の流路変更が
臨める丸山地区



上野ヶ丘にある池田大西城跡

今回は、刻みたばこが育んだ「池田町本町のまちなみ」について紹介

「池田町 本町 のまちなみ」

江戸時代末期(1800年初期)に中和商店から始まった池田の刻みたばこ業は、江戸～明治期にもっとも繁栄しました。専売法が施行されたことにより、多額の保証金を受け取る

ことができたことを期に、醸造業や酒造業などに転業し、現在に至ります。

阿波葉 葉タバコの栽培は、江戸時代にお坊さんが長崎からたばこの種を持って、三好市山城町大野にとどまり、その地に伝えたと言われています。現在、山城町大野の墓所観音寺境内に、筑後坊の石像が残されています。

以来、山間地域では、葉タバコの栽培が恰好の特産物となりました。水はけの良い傾斜地で耕作ができる換金作物として広がったのです。

山間地 ソラ で栽培された葉タバコは、尾根沿いの街道を
通って平野部 マチ に運ばれ、郷町 池田 の商人に売られ、
刻みたばことして加工されます。刻みたばことして、徳島、讃岐、
大阪方面に売り出されてゆきました。



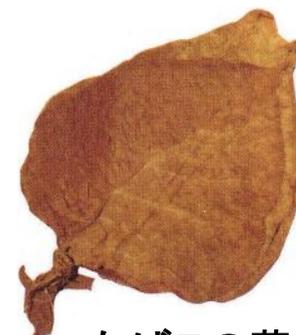
築後坊

郷町(ごうまち): 中世から近世の時代農村部などで、商品生産の発展に伴って発生した小規模な町

同様に、祖谷地域で栽培された葉たばこは、井川町の辻まちへと運ばれ、手刻み屋さんが栄え、辻の町並みを形成することになります。



阿波池田うだつの家たばこ資料館



たばこの葉

刻み機 剪台 を発明

寛政12年(1800)年中村武右衛門さんが機械による刻み機 剪台 を発明し、刻みたばこの量産が可能となりました。刻みたばこは、吉野川の水運により、諏訪公園の東側にある 千五百河原 (池田港) から 平田船と呼ばれる帆船 に乗り、徳島へと運ばれ、さらには 北前船 によって、京阪神、瀬戸内、日本海沿岸から北海道へと売りさばられました。



たばこ刻み機 剪台



平田船

平田船いっぱいの刻みたばこで、蔵が一軒建つほどの収入があったそうです。

こうして江戸末期には池田の町の半数以上の人がたばこ産業にかかわることになったといわれています。

明治に入りたばこ産業は益々活況を示します。

葉煙草専売法(1896年 明治31年1月施行)の施行前の明治27年12月末では、池田のたばこ産業は、工場数33棟、工員数2044人、当時の池田村人口の約半数がたばこ産業に従事していました。

更には、たばこの完全専売制実施の直前、明治36年12月末では、工場数61と飛躍し、池田は徳島をしのぐほどの県下有数の商工都市となったのです。

煙草専売法の成立

明治37年7月(1904年)煙草専売法が成立施行され、たばこの製造から販売までが国の管理で行われるようになります。

そのことにより、刻みたばこ製造業者は姿を消すこととなります。

その多くは醸造業や酒造業、宿などへと転業します。



専売公社池田工場

卯建(うだつ)を上げる

今でも、本町筋や町内各所に残る重厚な建物に上げられた卯建(うだつ)は、当時の繁栄の象徴として、当時の池田を偲ばせています。



卯建(うだつ)

卯建(うだつ)の上がった家屋は、そのほとんどが明治20年代から30年代前期の建物です。

池田にとって明治20年代は煙草産業の躍進期、30年代は全盛期でした。卯建(うだつ)も防火壁としての実用的なものから、家業の隆盛を反映したシンボルとして構えられます。

重厚な商家の建物は、袖卯建の上がった切り妻造り、本瓦葺、平入り、白または黒漆喰の塗り込め壁で、中二階、格子、出格子などが見られ、伊予街道沿いに軒を連ねていました。

四国で最初の近代水道の創設

当時の池田町の経済力を物語るものの一つに、四国地方で最初となる上水道誕生の歴史があります。明治41年(1908年)3月、飲料水不足の解消と煙草製造工場の存続を目的として、国内で12番目の近代水道として創設されました。

現在も水源のひとつである島山谷(池田町ヤマダ564番地)を水源とし、国内初のレンガ造り円形配水池と、これも国産技術による国内最初のレンガ造りの鍵掛導水管橋を建造、口径150ミリの鑄鉄管を用い、マチまで配水管を敷設したもので、当時の総事業費35,940円でした。この建設費用の約半分は、町内業者に払い下げられた葉煙草5万貫の利益金が寄付されたとされています。



所在地：池田町ウエマツ420番地2



所在地：池田町ウエマツ4114番地

ぜひ池田を散策のおりには、うだつの町並みと、阿波池田うだつの家たばこ資料館、展示されている刻みたばこの歴史と、平田船、吉野川の水運 池田港 千五百河原、と併せて、観ていただけると楽しいと思います。

ここで、ひとつの絵本を紹介します
特定非営利活動法人 マチトソラ 発行、
たばことマチのものがたり ―歴史を変えた武右衛門さん― です。

たばことマチのものがたり

―歴史を変えた武右衛門さん―



たばことマチのものがたり
―歴史を変えた武右衛門さん―

絵：田中正人 文・題字：黒木公子

発行：徳島県三好市池田町マチ 2467-1
特定非営利活動法人マチトソラ
2017年3月発行

文化立県とくしま推進会議
とわ文化体験プログラム支援事業助成

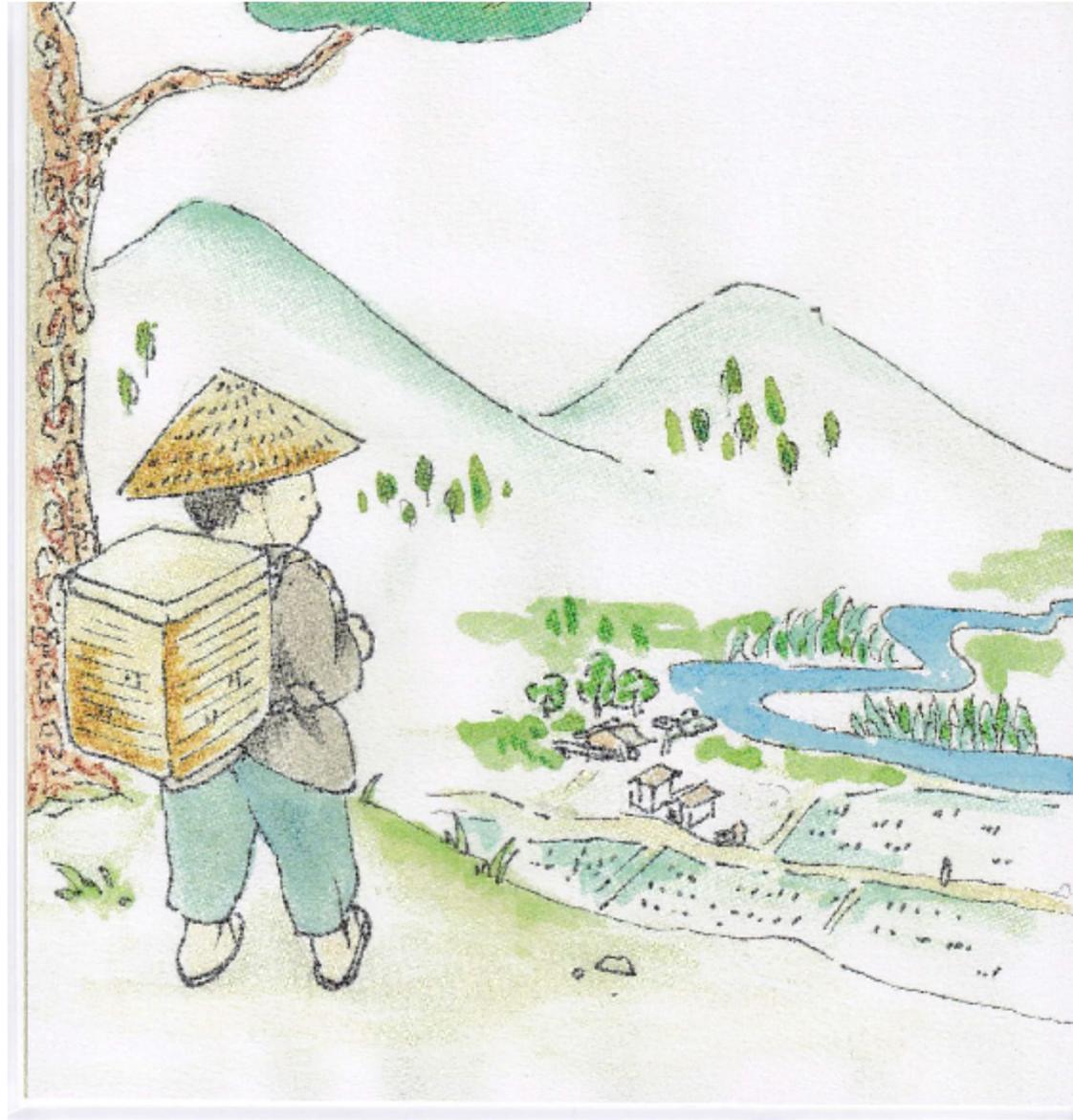


この事業は心空くじ支援の一環で行われています。





歴史を変えた武右衛門さん ページ1



歴史を変えた武右衛門さん ページ2



ある日武右衛門さんは猪鼻峠を越え、香川県の海沿いの
町、詫間につきました。その波打八幡神社の木陰で休
んでいるふたりの商人風の男を見つけ、「一服いかがで
すか？」と池田のたばこを差し出しました。

歴史を変えた武右衛門さん ページ3

するとふたりは「こりゃうまい！いい匂いだ！！」
と目を丸くしてほめてくれました。
ふたりは粟島の豪商、柏屋貞六と岡田屋幸兵衛で
した。



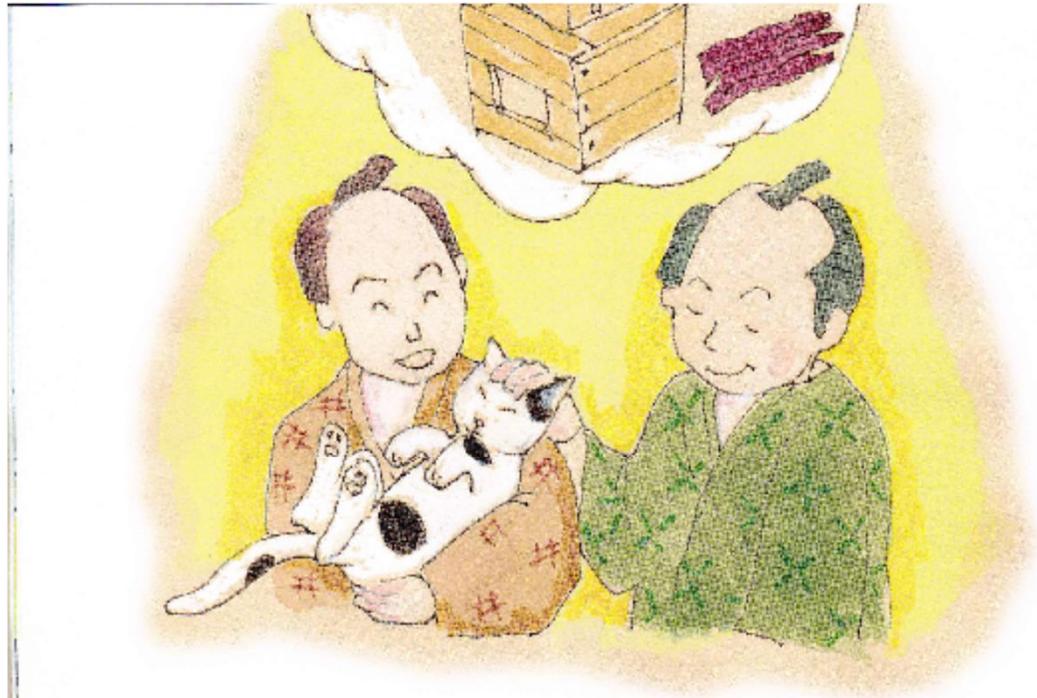
歴史を変えた武右衛門さん ページ4



歴史を変えた武右衛門さん ページ5



歴史を変えた武右衛門さん ページ6



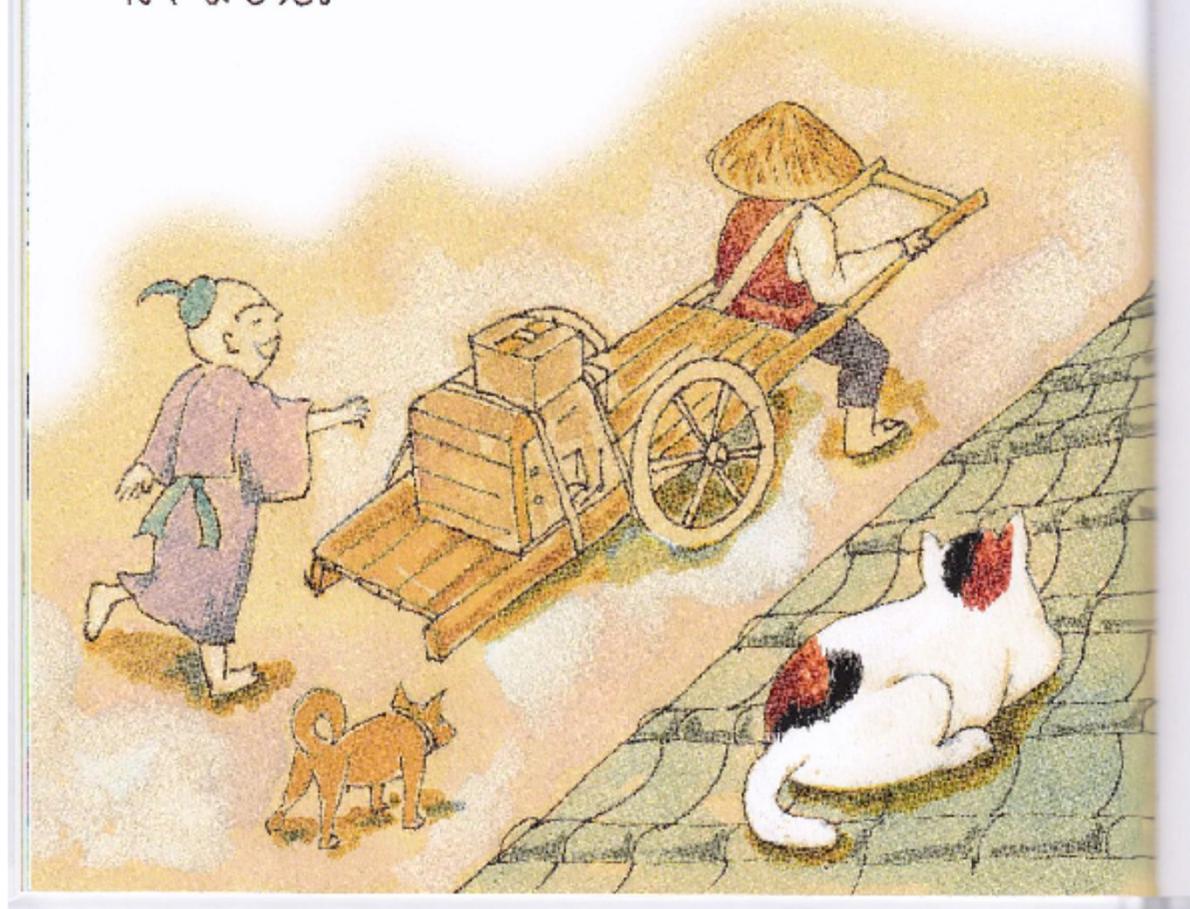
山やまの男おとこと海うみの男おとこが夜よが更ふけるまで語り合かたい、せしてふ
たりはなんと残りのこのたばこぜんぶを全部買かってくれました。
池田いけだのうまいたばこぶえと武右衛門むすべんさんひとびらの人柄わづいや熱意ねついにほ
れこみ、ふたりは昆布こんぶ切きりの機き械かいを手に入いれる計けい画かくを
しました。

歴史を変えた武右衛門さん ページ7



歴史を変えた武右衛門さん ページ8

それから約半年後、良い便りがあり武右衛門さんは
大八車を持って、粟島まで昆布切りの機械を取りに
行きました。



歴史を変えた武右衛門さん ページ9

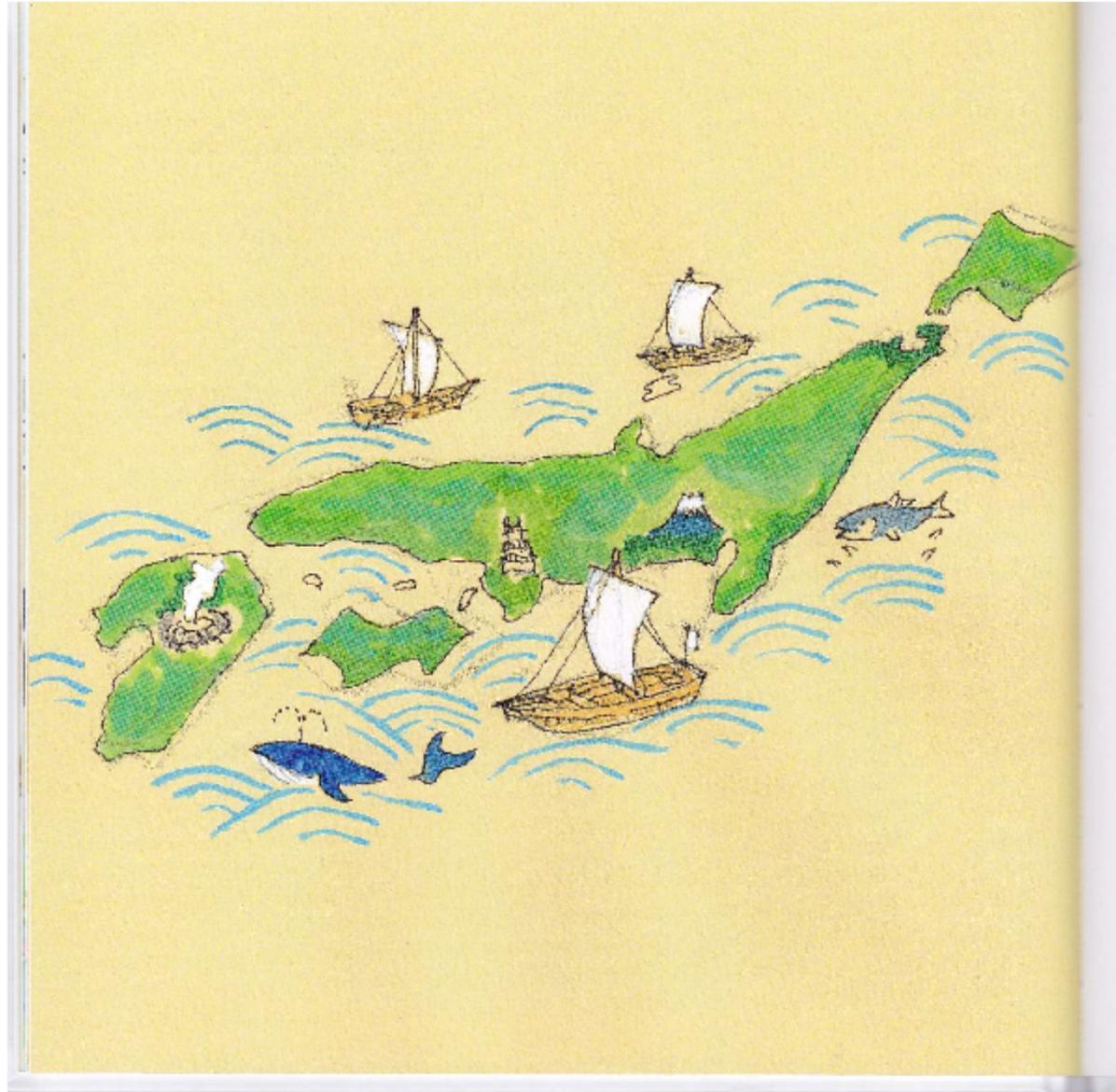


ぶえもん おおよろこ
武右衛門さんは大喜びでした。
いけだ たいく えの かいせう くつ
池田の大工に頼み、あれこれと改造を加え、たば
この葉を切れるようにしたのです。

歴史を変えた武右衛門さん ページ10



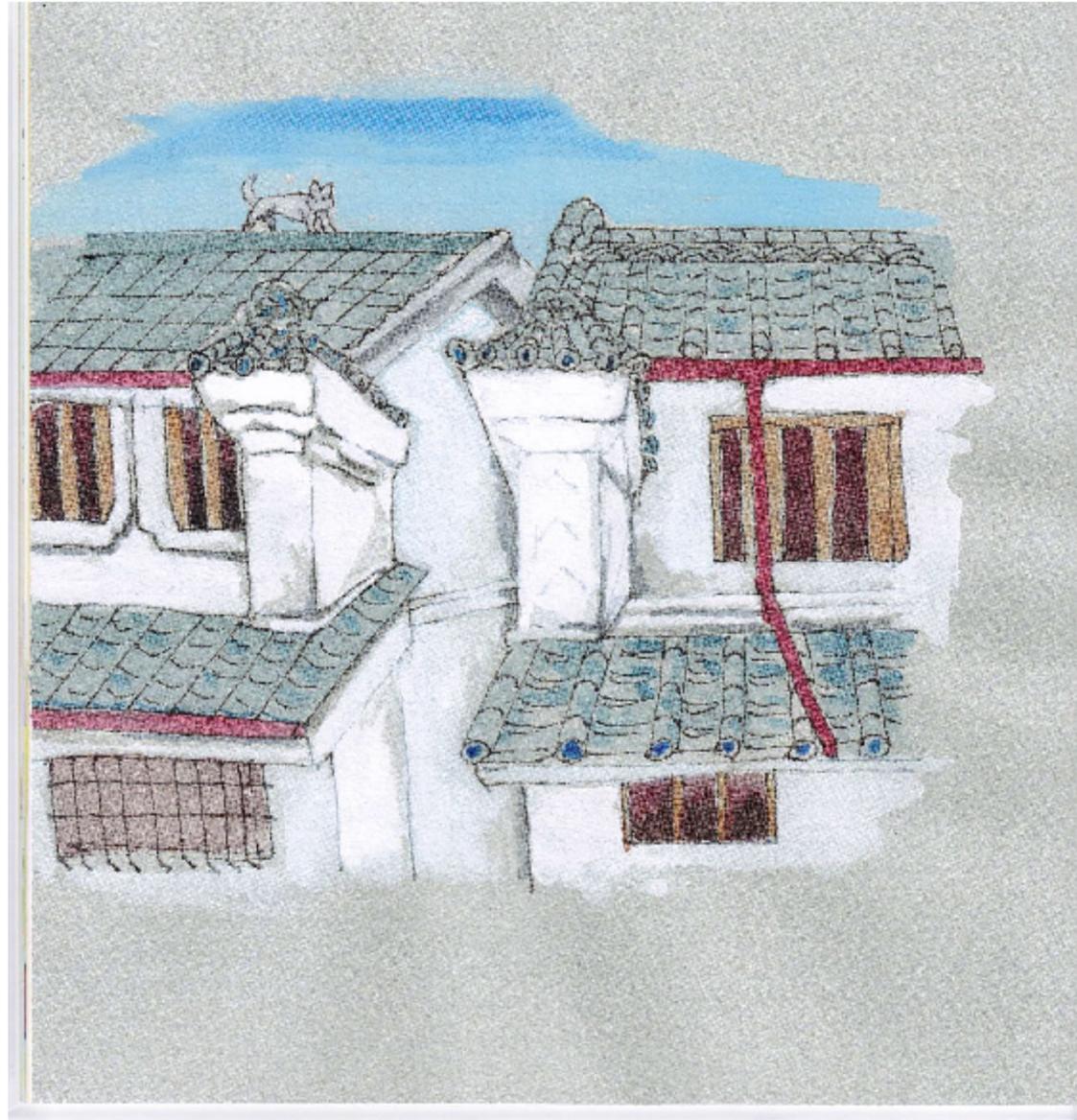
歴史を変えた武右衛門さん ページ11



歴史を変えた武右衛門さん ページ12



歴史を変えた武右衛門さん ページ13



歴史を変えた武右衛門さん ページ14



歴史を変えた武右衛門さん ページ15



《作者紹介》

田中正人
元教員。
三好市東みよし町在住。

基本公子
元教員。三好市池田町在住。
中村屋武右衛門の子孫。

デザイン 元木香濃



H3017-C02-17-19

三好市プチガイド養成講座 ⑤

三好市のマチの歴史文化 三野・池田 編



これで、今日の講座は、おしまいです
ありがとうございました

三好市プチガイド養成講座 2020

次回 6 コマ目

三好市とその周辺の歴史文化 ～ 井川・東みよし町～



配信期間：2020年9月25日～10月9日
